

地域活性化等対策調査特別委員会

1 日 時 令和7年6月25日（水曜日）

午後3時13分～午後3時39分

2 場 所 委員会室

3 出席委員 杉 山 武 志 委 員 長 藤 井 敏 通 副委員長
竹 岡 昌 治 委 員 山 中 佳 子 委 員
三 好 睦 子 委 員 岡 山 隆 委 員
秋 枝 秀 稔 委 員 戎 屋 昭 彦 委 員
村 田 弘 司 委 員 末 永 義 美 委 員
山 下 安 憲 委 員 石 井 和 幸 委 員
井 上 敬 委 員 竹 下 駿 委 員
三 善 庸 平 委 員

4 欠席委員 な し

5 委員外出席議員

荒 山 光 広 議 長

6 出席した事務局職員

岡 崎 基 代 議会事務局長 寺 埜 真 輔 議会事務局議事調査班長

中 島 高 輝 議会事務局庶務班長

7 説明のため出席した者の職氏名

な し

8 会議の次第は次のとおりである。

午後 3 時13分開会

○委員長（杉山武志君） ただいまより、地域活性化等対策調査特別委員会を開会いたします。

議長、報告事項等ございましたらお願いいたします。

○議長（荒山光広君） 特にございませぬ。よろしく申し上げます。

○委員長（杉山武志君） ありがとうございます。それでは、調査事項に入ります。

最初に、各分科会から、前回の特別委員会以降の進捗状況及び今年度の取組などの報告を求め、情報を共有化したいと思います。

各分科会からお願いしたいんですが、最初に人口減少対策分科会について、岡山分科会長、お願いいたします。

○分科会長（岡山 隆君） それでは、人口減少問題をどのようにしてこの特別委員会として進めていくかということで、一応直近では6月17日火曜日ですね、12時から1時間程度協議しました。これには、三善委員、末永委員、そして井上委員、竹下委員、私で、5名で協議したところでございます。

問題は、人口減少問題、これ、執行部のほうも協議をされていると思います。そして、藤山浩さんも呼んで、そういった専門的な視点からの講演会もあったところでございます。それはそれとして、執行部はつくっていかれる。

それで、委員側としてもこの人口減少問題、どうつくり込んでいくかということで、いろいろ協議しております。大きな問題ですので、なかなか結論は出ないんですけども、執行部の方向性を見ながら、特別委員会として、検討意見をどう提言していくかということを考えております。

それでは、独自案をどんどん出していくのかということであります。

で、問題が多岐にわたって解決策がなかなか見えない。これをどう絞っていくかということで、移住対策に絞って進めていったらいいんじゃないかと、こういうところに、6月17日ではなかったところでございます。

それには、菜園付きの住宅の提供、ついの棲家、こういったところをしっかりと独自策で進めていくことが大事ではないかということの意見が出たわけでございます。

特に、来福台6丁目、販売する隣近所に、1区画を畑として無料で貸出しをしていくのもどうだろうか。一応、まだ25%が空いてる土地がありますので、こういっ

たところを上手に、移住された方に対しては無償で提供して作っていただいて——野菜等を作って生活の糧にさせていただくと、これを1つの特徴として、今後捉えていくことが大事ではないかと。

これを各全域で、来福台だけではなくて、そういった移住者には無償で提供する、こういった畑を無償で貸出していくのが今のところは移住対策としては大事ではないかということでもあります。

今後とも、移住、また出て行く人、こういったところについても、出て行かないようにするためにはどうしていったほうがいいのかとか、こういったところの対策についても検討していきますけれども、とにかく今回は移住を受け入れていくこういったところに絞って、特典になるようなこういった対応をしていこうという、基本的には、こういう形の今案が出たところでございます。

井上さんなんか書記ですから、いろいろちょっと気になってること何かありましたらお願いします。

○委員長（杉山武志君） 井上委員、お願いいたします。

○委員（井上 敬君） 今、一応この報告書をつくったんですけども、私、これ2ページ目はちょっと間違えて、前回の違うものがくっついてしまってるので、1ページ目だけなんですけども、今、岡山委員のほうから説明をされたんですけども、付け加えらしてもらえると、とにかく人口減少問題って、なかなか本当に多岐にわたってなかなか絞りにくいところがあるんですけども、執行部のほうもプロジェクトチームをつくってやってるということで、その方向性を見ながら、議会として、分科会として意見を出していくというのもあるかもしれないということだったんですけども。やはり、自分たちでもどんどん出していこうということで、特に移住対策を絞ってやっていこうということだったんですけども、出ていく方向も止める方法も考えなきゃいけないけども、特に移住対策に絞って、次からしっかり意見を出していこうということで、前回は終わっております。

以上です。

○委員長（杉山武志君） ありがとうございます。

人口減少対策、幅が広いので、移住対策について絞り込んでやっていきたいというお話でした。

次に、教育対策分科会について、藤井分科会長、お願いいたします。

○分科会長（藤井敏通君） 学校給食——保育園だったかな、学校給食の無償化とか、あるいは修学旅行の助成とかということで要望書をまとめて以降、特に分科会として集まっておりません。それで、7月の2日予算決算委員会の後にちょっと打合せをしたいなというふうに今思ってます。

で、あくまでもこれは私の私案なんで、一応7月2日のときに皆さんに諮って、一応承認されれば今年というか、今年度の活動課題ということで取り組んでいこうと思ってます。

テーマが美祢市立の高等学校の設立ということについて、調査・検討をしたいなというふうに思ってます、1年ぐらいかけて、いろいろ調査して提言をしていきたい。

といいますのが、今回の一般質問で、山下委員のほうからも県立高校の再編整備という話がありました。正直、今のままでは、美祢の唯一の公立高校である青嶺高校すらひょっとしてその存続が危ういんじゃないかなというふうな危機感を感じております。市にあって、公立高校1つもないなんていうのは、もう本当に市としてのもう機能停止、機能さえないんじゃないかというふうに思います。

もう一方で、小中一貫教育とか言ってますけれども、せっかく小中一貫やっても、中学校が高校に行きたいなあというふうな高校がやはり地元にないということになれば、結局はもう外に出ていってしまうということもありますし、この際ですから、小中高全部美祢市立にして、本当に一環で12年、さらには幼稚園・保育園も入れればプラスアルファで、一環で本当に美祢独特の独自の特徴ある教育というのを——ができればええかなというふうに思いますので、ぜひこのテーマで、この最低1年間は調査・検討していただいて——いって、要は、美祢市立高校ということの設立の要件、あるいは実際にもう市立の高校を持ってるそういう先進地っていうか——の行つての現地視察、あるいは場合によっては、部署に行つていろいろお話を聞くとかそんなようなことをこの7年度、1年の目標にしたいなというふうに考えます。

ただし、これはあくまでも今私個人の見解ですんで、7月の2日教育委員の皆さん、すみません、予算決算が終わった後、ちょっとお時間をいただいて協議したいなというふうに思います。よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（杉山武志君） ありがとうございます。

先ほど、人口減少対策と今教育対策お話がありましたけど、これについて、質疑とか御意見とかございますでしょうか。三好委員——三好睦子委員。

○委員（三好睦子君） すみません、ちょっと教育の今の件なんですけど、公立高校——県立の絶対守らないといけないと思うけど、守られるかどうかというのもまだ分かりませんが、県がこうやって、もうカットするってするかもしれませんけど。

ちょっと思ったんですけど、進学のとくに、県立と私立で何か格差って変ですけど、何かあれ、何か格差——簡単に言えば格差かな——何か何ていうのがあるのかなとちょっと心配になったんですけど、学生が選んでくれるかどうかもちょうとあると思うんですけど、内容がしっかりしておればいいかと思うんですけど、進学校にするのか就職を——即就職にするのか……

○委員長（杉山武志君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） あるのじゃないのかなと思ったんですけど、そういうところどうなんですかね。

○委員長（杉山武志君） だから、子どもさん方に不利益がないような要件ですとか、今から研究を始められるところですので、また整理されて発表された折に、そういったことを尋ねられたらいいんじゃないかなと思いました。ほかによろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君） なければ、次に、観光対策分科会について、三善分科会長、お願いいたします。

○分科会長（三善庸平君） それでは、観光部会の進捗のほう報告させていただきます。

観光対策分科会では、5月14日で秋吉台観光交流センターで観光政策課のほうと、この流れでいろんなお話をさせていただきました。

内容としては、第三次観光振興計画がこのたびできたというところで、それに伴う主要のKPIの部分であったりだとか、来年実施されるJRの山口県デスティネーションキャンペーンの取組やモンベルの包括連携協定についていろいろと、そのほかにもお話をしてきたというところがございます。

今後については、これからまた以前の話合いで、観光協会や教育委員会等に対して改めて事業の展望を図ったり、秋芳洞商店街と話合いの場を設けるということで

お話が上がっているので、それについて、進捗を進めていきたいなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（杉山武志君） ただいまの報告につきまして、質疑、御意見ございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君） それでは、次に、まちづくり対策分科会について、竹下分科会長、お願いいたします。

○分科会長（竹下 駿君） まちづくり分科会は、6月17日に協議を行っております。

今回、話し合った内容が現在使われている公共交通機関を根本から見直すべきではないか、美祢市民による公共交通機関の使用頻度の調査を行うべきではないかという、その他意見がありました。

下のところにまとめてはありますが、今回の話合いやまちづくりについて、どのような政策を打ち出していくべきかというのが主な話題となりました。

その中で、公共交通機関の部分を美祢市独自の交通網へ発展させていくことはどうかという意見に際し、どのぐらい市民が公共交通機関を使用しているかの調査の後、検討していくべきではないかとなりました。

また、美祢市内でのシェアライドの復旧を促すために、市内タクシー会社に意識調査も含め協議の場を持つのは——持つのもいいのではないかという意見もありました。

また、まちづくり分科会は、今後、月に2回協議の場を持ち、各地区のまちづくりのタイムスケジュールの作成をし、なるべく多くの課題を解決できるようにしていくことに決定しました。

以上です。

○委員長（杉山武志君） ただいまの報告につきまして、質疑、御意見ございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君） ないようでしたら、次に、農業振興対策分科会、山下分科会長、お願いいたします。

○分科会長（山下安憲君） 農業振興分科会です。前回2月28日に分科会を行いました。

て、そこで、前の他分野分科会という名称から農業振興分科会ということで、一応皆さんの合意を得られまして、名前が改編されたところです。

で、そのときに、新しく石井委員と竹下委員も入ってくださったということで、新しいメンバーで次に予定してますのは7月2日、教育分科会とちょっと被るんですけれども、時間をちょっと調整しまして開催したいと思っております。

その他分野分科会のところは、農業振興ということでまとまりましたので、大まかには稼げる農業ということが中心になってくるかと思います。

以上です。

○委員長（杉山武志君） ただいまの報告について、質疑、御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君） それでは、以上で、各分科会の報告を終わります。

次に、前回の特別委員会で、教育分科会及び観光対策分科会から提出された提言について少しお時間かかりましたが、1つにまとめたものを案としてお示ししております。

ここで、案の概要を読み上げて説明に代えさせていただきたいと思います。皆さん、ページのほうよろしいですか。

要望事項、「教育環境の整備・充実」「学校給食の充実について」、少子高齢化が進展する中、市の宝となるひとの育成は、持続的なまちづくりの基本となるものであり、このまちで子どもを産み育てる環境整備を行う必要があります。

学校給食については、昨年度建設された学校給食センターへの集約化、食育の充実と給食の安定供給が図られているところです。

一方で、度重なる物価高騰は、子育て世代にも大きな影響を及ぼしています。

現在、国において、学校給食費の無償化が検討されているところですが、既に近隣市町では無償化が実施されており、市民からも——市民から要望の声も上がっています。

また、インバウンド観光客の増加等により、宿泊施設料金が高騰しており、このことは、修学旅行の実施にも大きな影響を与えています。

これらの現状を踏まえ、保護者の負担軽減と児童生徒の学習の支援を図るため「給食費の無償化」及び「修学旅行費の支援」を行うよう要望します。

次に「ツーリズム・イベントの強化」「観光施設と環境の改善について」、秋吉台、秋芳洞をはじめとする観光資源は本市の強みであり、国内外からの観光客を歓迎するまちづくりに努めることは、魅力の創出・交流の拡大につながります。

そのためには、資源を磨き上げ、観光コンテンツの強化や多様化を図るとともに、観光客を受け入れるための環境を整え、安全性、利便性、快適性のみならず、魅力度や満足度を向上させなければなりません。

これらの現状を踏まえ、以下の事項について要望します。

ア 秋吉展望台のトイレは、平成5年7月の改修以来30年が経過しており、経年劣化と時世にそぐわない様式となっている。インバウンドを含めたおもてなしの充実、イベント開催等を勘案し、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮したトイレの洋式化、多目的トイレ扉のセンサー式自動開閉化を行う。

イ 雨天時の対応として、展望台中央及びジオガイド説明場所への屋根の設置及び——並びに展望台とMine秋吉台ジオパークセンターカルスターの一体感を図る通路の設置。

ウ 展望台におけるコンテンツの充実を図るため、天体望遠鏡及びフォトスポット並びに音声ガイドの設置。となっております。

この案について、質疑、御意見等ございますでしょうか。山中委員。

○委員（山中佳子君） これは、議長宛てに出す要望書になるわけですか。

○委員長（杉山武志君） 市長に出しますが。

○委員（山中佳子君） この内容で出されるわけですか。それでいいですか。まず議長に出さなければ……。

○委員長（杉山武志君） 議長経由です。

○委員（山中佳子君） だから、宛名をこの文の最後に書かないといけないですよ。じゃないんですか。何々様っていうんで。誰に出すっていう。それはいいんですかね。

○委員（竹岡昌治君） これ、宛名もなけんにやあ……。議長に出さんにやあいけん。

○委員長（杉山武志君） いや、これは確か付箋がつくと思います。

ちょっと今手元にないんですけど、委員会から議長、議長から市長宛ての鏡がつくと思うんですが。そこの……。竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 特別委員会は議長宛てに出して、議長は、今度は市長宛。

○議会事務局長（岡崎基代君） 流れとしましては、特別委員会の要望として議長に出します。で、議長から市長へ特別委員会からこういう要望がありましたので送りますというような感じだろうと思います。

○委員長（杉山武志君） 山中委員。

○委員（山中佳子君） じゃあ、その際、この文面は議長に出したものがそのまま市長のところにいくことになりますか。なるんですね。分かりました。

○委員長（杉山武志君） そのほか質疑、御意見ありますか。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） 今、山中委員が言われたように、これ議長に出すということで。

これ昨日いただいて、私もしっかり読ませていただいて、要望事項として出すことはいいと思うんですけど、ただ書式が、これ1の教育と2のツーリズムで何々を要望しますってなってる、以下のことを要望しますってなってるんで、ちょっと書式を統一されたらどうかなって個人的には思いました。

○委員長（杉山武志君） 今のところは、読み上げた雰囲気整うように再度調整を図りたいと思います。そのほかございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君） それでは、この案につきましては、再度、今の御意見を調整させていただいて、特別委員会の要望としまして議長に提出することとし、本会議最終日に中間報告として報告したいと思っております。これに御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君） よろしいですか。それでは、そのように取り計らうことといたします。

以上で、本日予定しておりました内容は終了いたしました。

各分科会におかれましては、課題解決に向けて、引き続き調査・研究に取り組まれますようお願いいたします。

また、各分科会の進捗状況におきましては、随時、報告書の提出をお願いいたします。

今後の日程につきましては、正副委員長に一任いただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君）　ありがとうございます。それでは、そのように取り計らうことといたします。

そのほか、皆さんから何かありましたら御発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（杉山武志君）　ございませんか。よろしいですか。ないようでしたら、これにて、本日の特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後 3 時39分開会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和7年6月25日

地域活性化等対策調査特別委員長